

はじめに

本報告書は、東京大学社会科学研究所人材ビジネス研究寄付研究部門に設置した研究プロジェクト「人材ビジネスの機能と構造に関する総合的研究」の中間的な成果として、企業アンケート調査の結果をとりまとめたものである。

プロジェクトの研究目的は、求人情報提供事業、有料職業紹介事業、労働者派遣事業、請負事業などの人材ビジネスに関して市場規模や生産性、事業戦略、経営行動などを把握することにある。プロジェクトのメンバーは下記の6名である。

阿部正浩	獨協大学経済学部助教授
今野浩一郎	学習院大学経済学部教授
佐藤博樹	東京大学社会科学研究所教授（研究プロジェクト代表）
佐野 哲	法政大学経営学部教授
佐野嘉秀	東京大学社会科学研究所客員助教授（第1部執筆）
堀田聡子	東京大学社会科学研究所助手

同プロジェクトは、昨年度、「第1回人材ビジネスの市場と経営に関する総合実態調査」を実施し、その成果を『人材ビジネスの現状と展望(1)』東京大学社会科学研究所人材ビジネス研究寄付研究部門資料シリーズNo.1にまとめている。この「第1回」調査の企画に際しては、『民間の活力と創意を活かした労働市場サービスに関する研究会』が実施した『労働市場サービス産業実態調査』を参考にさせていただいた。同研究会は、全国求人情報誌協会（現、全国求人情報協会）、日本人材紹介事業協会、日本人材派遣協会の3団体が共同して設置したもので、本プロジェクトのメンバーのうち今野浩一郎、佐藤博樹（座長）、佐野哲の3名が参加している。

今年度は、昨年度実施の「第1回」調査を踏まえて新たにアンケート調査を企画・設計し、「第2回人材ビジネスの市場と経営に関する総合実態調査」として実施した。本報告書は、この「第2回」調査の集計・分析結果を紹介するものである。「第2回」調査の企画にあたっては、「第1回」調査の際と同様、リクルートワークス研究所の角方正幸主任研究員と村田弘美主任研究員の両氏から貴重なアドバイスをいただいた。記して御礼を申し上げたい。

「第2回人材ビジネスの市場と経営に関する総合実態調査」は、人材ビジネスの業

界団体である社団法人全国求人情報協会、社団法人日本人材紹介事業協会、社団法人日本人材派遣協会、社団法人日本生産技能労務協会、有限責任中間法人日本製造アウトソーシング協会にご協力いただき、それぞれの協会の会員企業にご回答いただいている。ご多用中にもかかわらず、ご協力いただいた協会ならびに会員企業の皆様に心よりお礼を申し上げます。また、本研究が人材ビジネス企業の今後の事業運営のあり方を検討する際に、資料として広く活用されることを期待したい。

最後になるが、本報告書の編集作業は、山路崇正氏（東京大学大学院）にご協力いただいた。

2007年3月

佐藤博樹（東京大学社会科学研究所・教授）

佐野嘉秀（東京大学社会科学研究所・客員助教授）